

市町村指定文化財取材票 《表》

取材日	2023年	6月	13日	(記入者) 大谷巳弥子	
取材参加者	秋山	大谷	神野	東辻	
取材対象先	大和高田市：長谷本寺の木造薬師如来坐像				

所在地	大和高田市南本町7-17				
所有者(取材 対応者)名	長谷本寺(長谷本寺 黒瀬雅史 住職) (個人情報守秘)		連絡先 0745-52-1738		
			PCアドレス		
取材申込	申込先・行政名など：長谷本寺				
市町村 指定文化財	彫刻	1 軀	木造薬師如来坐像 2021(令和3)年6月24日指定		
	建造物	棟			
文化財指定理由	平安時代に製作されたとみられ、各時代に補修を重ねながら今日まで伝来した古像であること。また横大路が東西に貫く大和高田市の歴史を伝える遺品であること。				

文化財の状況

	設備・対策・点検・通知方法など	記入者の感想
防火対策	本像が安置されている薬師堂すぐ隣の本堂に県指定の仏像2軀が安置されており、十分な防火対策が取られている。	特に問題は無いと思われる。
	被害の有無、対策など	記入者の感想
獣害対策	街中の交通量の多い道路に面しているため、獣害は無し。	問題なし。
保存～継承 へ 苦勞と 今後の課題 と対策	本像は、かつては初瀬街道(横大路)の傍らにある薬師堂の本尊であったと伝えられている。現在の薬師堂は、1943(昭和18)年頃に移築されたものであるが、2010(平成22)年に全面改修されている。何度も補修を重ねられている仏像なので心配な箇所は見受けられるが、長谷本寺住職により大切に保管されているので、当面の課題は無いと思われる。	

取材を終えて感じた文化財保護状況と今後の課題(修復、維持、管理、環境など)

大和高田市は中世頃より商都として栄えてきたため、近年まであまり文化財に注目されてこなかったとのこと。大和高田市最古の歴史を持ち、多くの文化財を所有されている本寺はもちろんのこと、市内他所の文化財も官民一体の力で修復・維持されていくことを願う。

市町村指定文化財取材票〈裏〉

取材日	2023年	6月	13日	(記入者) 大谷巳弥子	
取材参加者	秋山	大谷	神野	東辻	
取材対象先	大和高田市：長谷本寺の木造薬師如来坐像				

〈写真撮影許可済み〉

文化財指定名 木造薬師如来坐像

木造薬師如来坐像	木造薬師如来坐像 (角度を変えて)
	
長谷本寺薬師堂	長谷本寺本堂

	
文化財の由緒などを記入	所有社寺や地域（廃寺等）の歴史や特徴を記入

桧の寄木造りで表面には漆箔が施され、平安時代製作と考えられる。一般的な薬師如来と異なり、定印を結ぶ手の形状や、東向きのお堂に安置されていることから、本来は定印阿弥陀如来坐像であったとも想像できるが、多くの部分に補修・改造の痕跡が見られるため不明である。

710年の平城遷都の際、平城京の裏鬼門の位置にあたることから、大満上人により開山されたと伝わる。本尊の木造十一面観音立像は、長谷寺と同一木で、長谷寺本尊より前に刻まれたと伝わる。正式な歴史を伝える資料は残されていないが、中世には存在が確認できる。その後商都として栄えた大和高田の初瀬街道（横大路）に面しているところから、多くの人々に信仰されてきた寺院だと思われる。